

第25期 株主通信

2020年3月期 報告書
(2019年4月1日～2020年3月31日)

Assuring Growth and Success with IT

－ ITで、確かな成長と成功を －



AGS株式会社

証券コード：3648



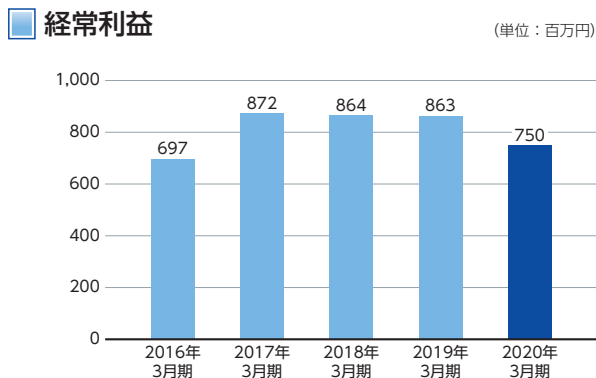
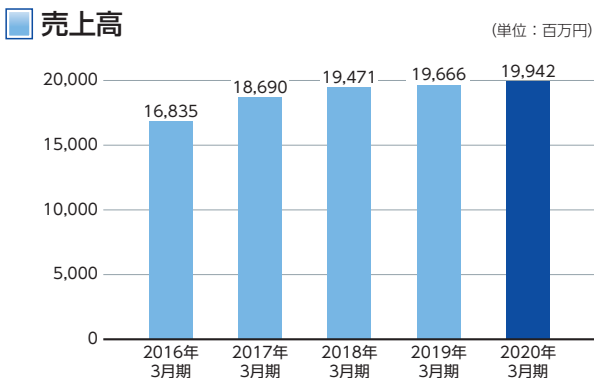
代表取締役社長 原 俊樹

株主の皆様には日ごろよりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

ここに、第25期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日）におけるわが国経済は、自然災害や消費税増税による一時的な落込みに対する政府や日銀の各種政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延による影響が懸念され、2020年3月における足下の景気は大幅に下押しされているほか、先行きについても極めて厳しい状況が続くものと予想されております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、競争力強化や生産性向上等を目的としたIT投資に加え、デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応の必要性から、レガシーシステムの刷新、クラウドサービスへの移行、業務プロセスの効率化や自動化などのシス



テム投資意欲の高まりにより堅調に推移してまいりました。一方、今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるIT投資計画の見直し・抑制などについて、十分に注視していく必要がございます。

このような経営環境のもと、当社グループは、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、長期経営計画「Challenge2021セカンドステージ」の各種施策の実現に向けて、AGSグループの「グループシナジー効果の発揮」や中長期的な「競争力の強化」に注力し、新規事業・新規サービスの創出、既存サービスの改善及び働き方改革の推進など、事業構造の改革に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、情報処理サービス及びシステム機器販売の増収などにより、売上高は19,942百万円（前連結会計年度比1.4%増）となりました。

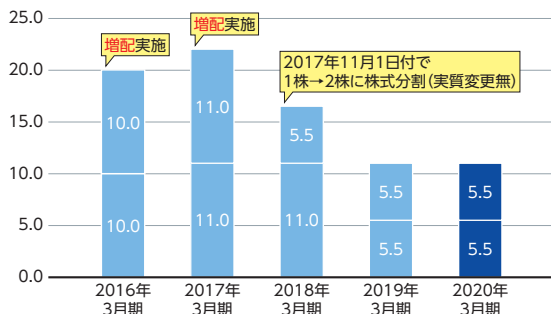
利益面では、人件費などの一般管理費の増加により、営業利益は714百万円（前連結会計年度比13.1%減）、経常利益は750百万円（同13.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は475百万円（同12.6%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

1株当たり配当金の推移

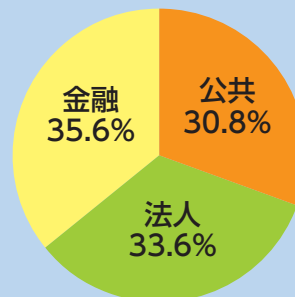
(単位：円)



企業理念

お客様とともに未来を
創造し、ITで夢のある
社会づくりに貢献します

顧客基盤



バランスのとれた顧客基盤で安定した
収益構造を実現しています

サービス内容



ITに関するコンサルティングから開発、運用まで
を一体的に、柔軟かつスピーディーに提供します

AI-OCR製品「DX Suite」提供開始

当社は、AI-OCR製品である「DX Suite」の提供を2020年1月より開始しました。AI-OCRとは、従来のOCR技術とAIとを組み合わせ、収集した大量の文字データから文字の特徴をディープラーニング（深層学習）し、高精度な文字認識を可能とするソリューションです。「DX Suite」を導入することにより、これまで手入力で行っていたデータ化業務を自動化することが可能です。従来型のOCRでは読取が困難とされていた手書き書類や読取画像のズレ、罫線等を含んだ帳票を高精度に認識し、自由記述の複数行の文章や、漢字・カタカナ・数字・アルファベットの混在も問題ありません。

現在、自治体様などにおいて活用ニーズが高まっており、今後さらに「AI-OCRソリューション」の拡充を図り、お客様の業務効率化に貢献できるよう取り組んでまいります。

※「DX Suite」は日本国内におけるAI inside株式会社の登録商標です。



**AI導入の強みを活かす
「オートラーニング」**

AIは使えば使うほど賢くなるよう、最適に構成されています。ユーザーがAIの高度化に手間をかける必要はありません。



**高速処理のための
「分散コンピューティング」**

一瞬でも速く業務を進めるために、最適化されたGPUの構成と分散処理を実現しています。



**大規模処理のため
「オートスケーリング」**

大量のデータを読み取る時も、自動でスケーリングを行います。必要な時に必要な分だけのリソース利用も可能です。



**金融法人やBPO業界にて導入
実績多数だから安心**

実証実験ではなく、セキュリティや品質がシビアに求められる現場で、日々実運用されています。

「ネットワーク型環境教育拠点@さいたま City」に認定

当社は、2019年11月、さいたま市の「ネットワーク型環境教育拠点@さいたま City」の登録企業に認定されました。この取り組みは、環境教育の一環として環境への関心を高める機会となる場を提供するもので、さいたま市内の小中学生を対象に、太陽光発電や防震装置、自家発電設備といった本社ビルの施設見学を実施しております。当社グループは、今後も環境保全に向けた活動を続け、地域社会へ貢献してまいります。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため現在は受付を一時中止しております。

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	7,515	7,657
固定資産	9,488	8,899
有形固定資産	5,666	5,489
無形固定資産	1,407	1,212
投資その他の資産	2,414	2,198
1 資産合計	17,004	16,557
【負債の部】		
流動負債	3,319	3,018
固定負債	1,868	1,547
2 負債合計	5,187	4,565
【純資産の部】		
株主資本	11,316	11,580
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	9,405	9,683
自己株式	△26	△39
その他の包括利益累計額	500	410
3 純資産合計	11,816	11,991
負債純資産合計	17,004	16,557

1 資産合計

現金及び預金が327百万円増加の一方、リース資産が312百万円、投資有価証券が227百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比446百万円減少して16,557百万円となりました。

2 負債合計

リース債務が前連結会計年度末比319百万円、買掛金が231百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比621百万円減少して4,565百万円となりました。

3 純資産合計

剰余金の配当196百万円による減少の一方、親会社株主に帰属する当期純利益475百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比174百万円増加して11,991百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	19,666	19,942
売上原価	15,398	15,606
売上総利益	4,267	4,336
販売費及び一般管理費	3,445	3,621
営業利益	822	714
営業外収益	89	77
営業外費用	48	42
経常利益	863	750
特別利益	—	0
特別損失	25	12
税金等調整前当期純利益	838	737
法人税、住民税及び事業税	261	247
法人税等調整額	32	14
当期純利益	544	475
親会社株主に帰属する当期純利益	544	475
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,988	1,655
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△624
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△679	△704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	257	327
現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,617
現金及び現金同等物の期末残高	3,617	3,944

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、1,655百万円となり、前連結会計年度より333百万円減少しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

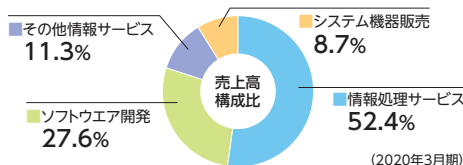
投資活動の結果、使用した資金は、624百万円となり、前連結会計年度より427百万円減少しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、704百万円となり、前連結会計年度より24百万円増加しました。

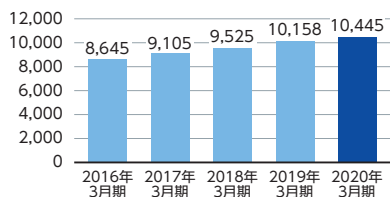
POINT

- 自治体向けIDC運用サービス案件の増加
- 消費税増税前の需要拡大やWindows7の保守終了などに伴う一般法人向け機器販売が増加



情報処理サービス

(単位: 百万円)

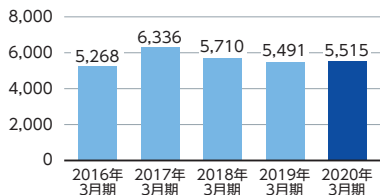


情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

自治体向けIDC運用サービス案件の増加などにより、売上高は10,445百万円（前連結会計年度比2.8%増）、一方、アウトソーシングサービスにおける新システムへの移行作業増加などにより、セグメント利益は1,402百万円（同3.4%減）となりました。

ソフトウェア開発

(単位: 百万円)

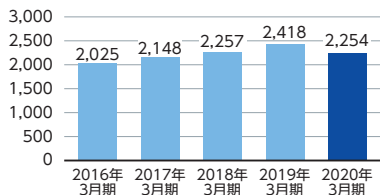


ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

自治体向けソフトウェア開発案件の増加などにより、売上高は5,515百万円（前連結会計年度比0.4%増）、セグメント利益は751百万円（同11.6%増）となりました。

その他情報サービス

(単位: 百万円)

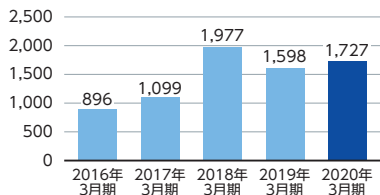


その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

公共団体向け機器保守案件の減少などにより、売上高は2,254百万円（前連結会計年度比6.8%減）、一方、セグメント利益は利益率の向上などにより290百万円（同35.3%増）となりました。

システム機器販売

(単位: 百万円)



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

一般法人向け機器販売が増加したことなどにより、売上高は1,727百万円（前連結会計年度比8.1%増）、セグメント利益は15百万円（同46.4%増）となりました。

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資本金	1,431百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 1,024名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザリー株式会社

役員 (2020年6月23日現在)

取締役会長	石井 進
代表取締役社長兼社長執行役員	原 俊 樹
取締役兼副社長執行役員	藤 倉 広 幸
取締役兼常務執行役員	及 川 和 裕
取締役(社外)	森 谷 由 美 子
取締役(社外)	岡 田 博 之
取締役(社外)	馬 橋 隆 紀
取締役(社外)	川 本 英 利
常勤監査役	石 関 正 次
監査役(社外)	白 田 憲 司
監査役(社外)	橋 本 光 男
監査役(社外)	杉 中 正 樹

株式の状況 (2020年3月31日現在)

① 発行可能株式総数	64,000,000株
② 発行済株式の総数	17,845,932株
③ 株主数	14,591名
④ 大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	2,045,800	11.50
大栄不動産株式会社	1,414,900	7.95
富士倉庫運輸株式会社	1,050,000	5.90
埼玉県民共済生活協同組合	1,000,000	5.62
千葉県民共済生活協同組合	1,000,000	5.62
株式会社りそな銀行	800,000	4.50
株式会社ティー・アイ・シー	600,000	3.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	484,600	2.72
武州瓦斯株式会社	401,000	2.25
第一生命保険株式会社	400,000	2.25
株式会社KSK	400,000	2.25
兼松エレクトロニクス株式会社	400,000	2.25

(注) 持株比率は自己株式(49,590株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ (https://www.ags.co.jp/) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お取扱窓口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

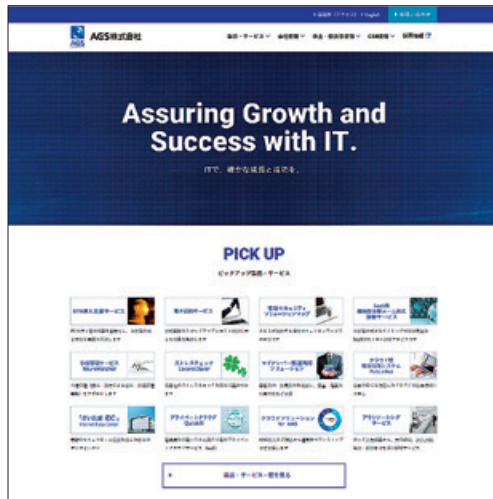


ホームページのご案内

<https://www.agcs.co.jp/>



トップページ



当社のホームページでは、会社概要・事業内容をはじめ、ニュースリリース、IR情報などがご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

トピックス・IRニュース



製品・サービス



株主・投資家情報



株主優待制度

対象となる株主様	優待の内容	発送時期
3月31日現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	VJAギフトカード 1,000円分	6月頃
9月30日現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	QUOカード 1,000円分	12月頃

※継続保有1年以上とは
毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載された株主様を株主優待贈呈の対象といたします。

電話照会先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)



AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL : 048-825-6000 FAX : 048-822-7337
<https://www.agcs.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。